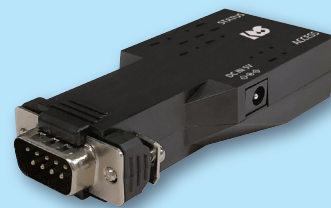


RS-232C機器からのデータを HIDのデータとして受信する

RS-BT62 シリーズは Bluetooth-RS-232C 変換ユニットです。RS-232C 機器に装着し、Bluetooth 経由で通信・制御を無線化するユニットです。Bluetooth を使用するため、タブレット端末でも機動性を損なうことなく、RS-232C 機器を制御することが可能となります。この資料では RS-BT62HID に特化し、機能、特徴、RS-BT62 との違いなどを説明します。(Ver.2)



RS-BT62HID シリアルデバイス用 Bluetooth アダプター (HID プロファイル)

Raspberry Pi 対応

標準価格：¥27,800 (税別)
JAN：4949090600676

対応 OS

Windows 11、10
※32ビット・64ビット両対応
iOS
Android
RaspberryPi

製品内容

RS-BT62HID 本体
AC アダプター

※本製品の設定変更をする場合は Windows 11/10 PCでの作業が必要です。

[1]RS-BT62HID の特徴

RS-BT62HIDとRS-BT62 では、使用する Bluetooth Profile が異なり、ホスト端末からの認識方式が異なります。Profile は本体内部に持つ Firmware で実現しています。

【RS-BT62HID】

HID モード (Human Interface Device Profile)



Point

電子天びんから出力されるデータがそのままホスト端末に送られます。使用する天びんによっては重量安定時コードなども送信されますので、ホスト側のアプリケーションでの処理が必要となります。

Windows, iOS, Android OS, RaspberryPi OS など。



RS-BT62HID

メモ帳、EXCEL、Webアプリなど、キーボード入力を行うアプリに直接入力可能。

(参考)

【RS-BT62】

SPP モード (Serial Port Profile)

ターミナルアプリケーションや自作アプリケーションを使用してデータ収集。

Windows, Android OS, RaspberryPi OS など。(iOSは未対応)



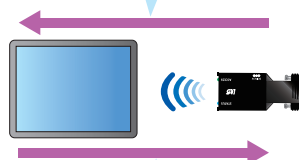
RS-BT62

[2]RS-BT62HID の設定について

RS-BT62HID の各シリアルパラメーターの出荷時設定は下記のとおりです。シリアルパラメーターの設定変更を行う場合は、一度、SPP モードに設定変更し、任意のパラメーター設定後、HID モードに戻すことが必要です。

出荷時設定	
Profile	HID (DipSW5 番 ON)
ボーレート	115,200bps (DipSW2 番 OFF)
データビット	8bit
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	ハードウェア (DipSW3 番 ON)

HID モード使用時のデータ方向。



設定アプリを使用する際のデータ方向。SPP モードでの作業が必要

※HID は主にキーボードやマウスなどで使用されており、データ方向は一方通行のみ。



Point

動作させてみる (応用編) 駆動電源の見直し。



D-Sub9番を電源ピンとして使用します。接続デバイス側の仕様をよくご確認の上ご使用ください。

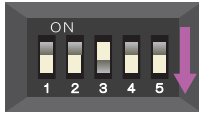
[1] 通常モード
本製品と接続デバイスが、それぞれの電源で駆動。
ACアダプター

[2] デバイスに供給
本製品から接続デバイスに対し、駆動電源を供給することが可能。(MAX5V)

[3] デバイスから受給
本製品の駆動電源を接続デバイスから供給することが可能。(MAX12V)

[3] 動作させてみる (設定方法・概略編)

3-1. 動作モードを SPP に変更する。
本体の電源が OFF になっている事を確認し、



5番を OFF に設定。
電源を投入すると、
RS-BT62はSPPモードで
起動します。

3-2. シリアルパラメーターを設定・変更する。
使用する RS-232C 機器に合わせて設定する。



※ハードウェアフロー
制御はDip-SWの
3番で設定します。

3-3. 動作モードを HID に変更する。
本体の電源が OFF になっている事を確認し、



5番を ON に設定。
電源を投入すると、
RS-BT62はHIDモードで
起動します。

3-4. Windows設定から、RS-BT62HIDを確認する。



HIDモードでは、上のようなアイコンで検出されます。



(参考) SPPモードでのアイコン。

[4] 動作させてみる (使用事例編)

4-1. カードリーダーの場合

従来まではキーボードで入力していた“作業 ID”を IC カード等で自動入力。誤入力もなく、簡単入力。
IC カードリーダーからのデータはキーボードと同じデータとして扱えるため、アプリケーションは軽微な見直しのみ。



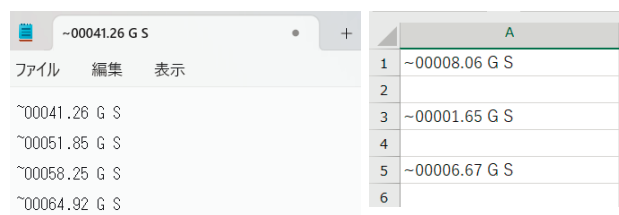
Point 複数台の同時使用について

RS-BT62HIDを複数接続する場合、排他制御が行われないため、それぞれの RS-BT62HID から同時にデータ出力されると、ホスト端末側では、双方のデータが混在して入力されます。

HIDモードを使用する場合は1対1接続を推奨します。
(複数台認識は可能。)

4-2. 天びんの場合

天びんから出力されるデータがそのまま端末に送信されます。
右の例では、重量データの外、整数であることを示す“~” やグラムを表す“G”、重量安定を示す“S”が、そのまま端末の EXCEL 等に出力されています。



メモ帳

Excel

Point

Bluetooth SIGで策定されている HID Class Profile を使用します。この HID Profile は英語モードキーボードが前提となっています。そのため、主に記号キーで日本語と英語ではキーコードが異なる場合があるので、注意が必要です。

例えば、天びんからは“+”(キーコード 0x2B)を出力された場合、HID profile を介して送信したデータは、英語モードでの “0x2B” である “~” と解釈され、メモ帳などには “~” と表示されます。

▲注意：正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずマニュアルをよくお読みください。
●本製品は国内仕様となっており、海外での保守およびサポートについては行っておりません。●記載されている名称・商品名は各社の商標または登録商標です。ただし、本文中には“R”および“TM”マークは明記しておりません。
●予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。●表示価格は消費税は含まれておりません。

●資料のご請求、お問い合わせは

RATOC Systems, Inc.

ラトックシステム株式会社 システムソリューション事業部

ラトックシステム株式会社 URL

<http://www.ratocsystems.com/>

〒550-0015 大阪市西区南堀江1-18-4 OsakaMetro南堀江ビル8F TEL.06-7670-5058(代)

※最新情報は弊社HPをご覧ください。



※本カタログの情報は2024年4月現在のものです。